

## ——無線技術の伸展を促し支えるアンテナ・伝搬及び

### 関連システムの論文特集論文募集案内（和文論文誌 B）——

無線技術の伸展を促し支えるアンテナ・伝搬及び関連システムの論文特集編集委員会

無線技術は、スマートフォンや無線 LAN 等の発展に寄与し、それらは、日々の暮らしにおいて必要不可欠な情報入手手段となっています。更に、エネルギー有効利用や労働人口減少対策等を目的とした IoT の実現のために、センサ無線や LPWA に対する期待は大きく、関連する無線電力伝送に関する研究開発も活発に行われています。また、安全運転や自動運転のためのレーダを中心としたセンシング技術に対しても大きな期待が寄せられており、今後、更に活発な研究開発が行われていくものと予想されます。移動通信に関しては、5G 等に代表される無線システムにおいて、高品質な通信を実現するために、新しいアンテナ・伝搬技術の導入が急速に進められています。このように、アンテナ・伝搬技術は、無線技術の更なる伸展を促すとともに、その発展を支えて行くと考えられます。

以上の状況を踏まえ、本特集（2020 年 11 月号）では、“無線技術の伸展を促し支えるアンテナ・伝搬及び関連システムの論文特集”と題して、アンテナ・伝搬及び関連分野における最新の研究成果の論文を募集致します。和文論文誌の特集では、最新の研究成果を国内の幅広い読者層にわかりやすく、かつ迅速に情報発信できます。また、本特集に掲載される優れた論文に対して表彰を行う予定です。多くの皆様からの積極的な御投稿をお待ちしております。

#### 1. 対象分野：

アンテナ設計・解析・測定技術、電波伝搬技術、電磁界解析技術、アクティブ／リコンフィギャラブルアンテナ、メタマテリアル、アダプティブアレー／MIMO 等のアンテナ・伝搬技術、次世代移動通信向けアンテナ・伝搬技術、リモートセンシング／レーダ等のアンテナ・伝搬技術、無線電力伝送技術、人体通信及び医療用アンテナ技術、その他関連する無線システム技術

#### 2. 論文の執筆と取扱い

- 論文の執筆、査読の取り扱いは一般論文と同一とします。詳細は、投稿のしおりを御参照下さい。  
[http://www.ieice.org/jpn/shiori/cs\\_mokuji.html](http://www.ieice.org/jpn/shiori/cs_mokuji.html)
- 原則として、論文は刷り上がり 8 ページ、レターは同 2 ページを標準とします。
- 特集発行のスケジュールにより、査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

#### 3. 主なスケジュール

投稿締切：2020 年 1 月 9 日（木） 厳守  
第 1 回判定通知：2020 年 3 月上旬を予定  
最終判定通知：2020 年 6 月中旬を予定  
掲載料支払期限：2020 年 7 月 24 日（金）  
発行月：2020 年 11 月号

（本特集の論文は、採録決定後、掲載料をお支払い頂くと直ちに早期公開されます。詳細は投稿のしおりを御参照下さい。）

#### 4. 投稿方法

投稿は原則電子投稿とします。https://review.ieice.org/regist/regist\_baseinfo\_j.aspx にアクセスし、投稿原稿に関するデータの登録と、投稿原稿 PDF ファイル（4 MB まで）ならびに編集用電子ファイル（1 ファイルにつき 10 MB まで）をアップロードし、Copyright Transfer and Page Charge Agreement の手続きをして下さい。なお、電子投稿が困難な場合は、学会事務局〈wabun-b@ieice.org〉に御連絡下さい。

#### 5. 特集編集委員会

委員長 高橋 徹（三菱電機）  
編集幹事 山田 渉（NTT）、武田茂樹（茨城大）  
編集委員 井上祐樹（NTT ドコモ）、岩井誠人（同志社大）、内田大輔（東芝）、袁巧 徹（仙台高専）、大島一郎（電気興業）、竹村暢康（日本工大）、西 正博（広島市立大）、西本研悟（三菱電機）、羽賀 望（群馬大）、藤本孝文（長崎大）、藤元美俊（福井大）

#### 6. 連絡先

武田茂樹（茨城大）  
TEL [0294] 38-7049  
E-mail : sgktakeda@m.ieice.org